

VINCE64

RACING TEAM

2024・SBK World SUPER SPORT・大久保光

Grand Ridge Brewery Australian Round, 23-25 February 2024

大久保光 スーパーポール 24 番手 レース1ーリタイヤ レース2ー24 位



大久保光は、2024年シーズンを Vince64 チームから WorldSSP 2024 に参戦を決めました。2021年から2023年まで参戦した場所に戻ることにしたのは、ここでやり残したことがあると思ったからです。日本人初のチャンピオン獲得を成し遂げるため、他チームからの誘いを断り、WorldSSP 時代にお世話になった監督からのアドバイスで参戦チームを決めました。

チーム代表ヴィンチェンツォ・スカンディッツォは「大久保は経験豊富なライダーであり、スーパースポーツ世界選手権で力を発揮してくれると思ったこと、また、人間的にも非常に親切で礼儀正しく一緒に戦いたいと思いました。私のチームで重要な役割を果たしてくれると確信しました」と大久保の加入を歓迎した。

だが、開幕前のテストからマシンが思うように走らないトラブルが発生する。ゴホゴホと不穏な音が出るばかりで、走り出すことが出来ずに、大久保は貴重なテストの時間を奪われた。対策をすることを約束してチームと別れた。

開幕戦となるオーストラリアでの再会となるが、レースウィークでも、その問題が解決されたとは言えず、フリープラクティスでは4周するに留まる。それも、タイム計測するレベルにはなかった。頭を抱えながら、なんとかスーパーポールに出て、1周のアタックに成功して26台中の24番手タイム、最後列のグリッドを獲得する。

決勝への期待は持てる状況にはならず、レース1は、トラブルで転倒してしまうが、最小限のダメージなくピットに戻ることが出来た。レース2は、なんとか、マシンの調整をしようと朝のフリー走行でピットインを繰り返すが、解決には程遠かったが、グリッドに付き、18週のレースに挑んだ。レースは赤旗で9周成立となり24位が最終リザルトとなった。

大久保光

「考えていた以上の苦戦となりました。スタッフに英語を理解する人がいないことでコミュニケーションがうまく行っていないことが大きく、以前のチーム監督もサスペンションを要望のものに変えてくれるなど、出来ることはやってくれることが希望ですが、改善しなければならないことが多くあります。バイクがまともに走ってくれなければ、力の発揮しようがなく、まずは、チームが普通に機能するように努力します。良い結果を報告できずに申し訳なく思っています」



※3月22日から24日にかけてバルセロナで第2ラウンドが開催されます。